

わんぱく学園ニュース

令和3年 1月・2月号

No.205

まだ花の少ない冬期に花びらがまるで「ロウ」のよう。色の無くなる12月から2月に明るい色と香りを解き放つ黄色い花・・・そう・・・
蠟梅（ロウバイ）の花が咲く頃——。

花言葉は「ゆかしさ」「先見」とか。

蠟梅の 香り豊かに 気の証

世はコロナ・・・だからこそ大切なのは「原点」。
その気持ちを忘れず自由な一人ひとりの思いを尊重する「わんぱく学園」の原点にかえってみました。

～土江 和世～

わんぱく学園 誕生

特定非営利活動法人 サポートセンターどりーむ
理事長 土江 和世

1976年4月5日 障がいある息子（長男・広）との出会いが私を福祉の道へと導いてくれた。人生は様々、思いがけない事がおこるとは、よく申したものだ。

妊娠7ヶ月の時、職場で転びお腹を強打。へその緒が首に巻き付き酸欠状態。泣き声を上げなかった。産婦人科医が揺さぶったり背中をたたいたりして、ようやく「オギャ〜!!」と泣き始めた。その声はまるで「ぼく生きるんだ〜」と叫んでいるようだった。

首が据わるのが遅く、総合病院で診察を受け、知的障がいがあるとわかり、夫（平田市手をつなぐ親の会会長）と私の人生が素敵に一変した。

「この子を育てることが出来るか？」広の寝顔をみる度に、この現実をどうしても受け入れることが出来ず涙する私に、夫は「愛する我が子を親が信じないで誰が信じるのか？」「この子と共に社会に飛び出そう！」と——。

一人遊びや家族との暮らしが多い広に「障がいある子同士が遊び交じ合える場をつくろう」「必要と思える場・物が地域社会に無ければ、気付いた者がつくれば…」という考えのもと、旧平田市内の小中学校の特殊学級（当時）に通う家庭に呼びかけ、仲間づくり（遊び場）への思いを語った。

多くが「待っていた」と共感してくれた。

市民の理解を得るためにも必要という考えで、学園名も、市が発行する週報で募集した。我が子が『元気でわんぱくであって欲しい』という親の願いでもあり、99通の応募の中から選んだ。

1988年6月26日 午前10時 旧平田市立平田幼稚園遊戯室でわんぱく学園の開園式を執り行った。心や身体に障がいある園児・児童・生徒が毎週日曜日集まり、特に戸外遊びを主に友だちと楽しく遊ぶ「わんぱく学園」が、親たちの11ヶ月余りの試行段階を経てやっと正式に実現出来た。

開会式を始める前に集まった子ども27名やその保護者は新聞紙で作ったカブトをかぶり式に臨んだ。

主催者として当時の太田満保市長や来賓として市議会の土江肇議長 校長会の常松生夫会長の挨拶で始まり、鍵の贈呈、林もち屋さんより祝いもちもいただいた。参列者一同がはじけるような笑顔で、長男広父親「稔」の指揮で鈴割をしたり、両手を万歳しながら「手のひらを太陽に」を合唱、大声で歌った。

♪ ぼくらはみんな 生きている
生きているから 歌うんだ・・・
手のひらを太陽に すかしてみれば
真っ赤に流れる ぼくの血潮・・・ ♪



式後には市が購入してくれた「トランポリン」遊びを楽しんだ。私は伴奏のピアノをひきながら「待ちに待ったいい学園ができたな・・・」となぜかこみあげた。

こうして「わんぱく学園」は誕生した。

最後に夫が数々心に残る言葉を遺してくれた その中からこの言葉を皆さまに、

「この子無ければ到底経験し得ず」



蠟梅の花

世界最大級の障がい者アートの見本市

第10回 国際チャレンジドアートエキスポインジャパン2020

開催概要（改訂版）

開催目的 障がい者がつくる芸術品（オンリーワンアート）を世に紹介し、この事業の原点となった
“わんぱく学園”の活動の歴史を通じて真の福祉のあるべき姿を考える。

テーマ 真の福祉とは

時期 2020年12月10日（木）～2021年2月26日（金） 午前11時～午後5時

主催 NPO法人サポートセンターどりーむ、わんぱく学園

共催 島根県商工会議所連合会、社団法人新極美術協会、JASCAP（我が国最大の障がい者作品通
販サイト）、障がい者芸術普及センター、わんぱくデザイン研究所

協賛 一般財団 ごうぎん財団 一緒にね！！（ハンディのある子ない子と大人たちとの楽しい出会い
の会）

特別協賛 出雲大社、

場所 インターネット上での開催

展示 国内&国外 20カ国 島根県、鳥取県、岸和田市、兵庫県、海外

凸版印刷、障がい者アート協会、主催者NPO法人サポートセンターどりーむアーティストによ
る20の個展、わんぱく学園30年の歩み

絵本 陶器、工芸品等 計800点

協賛出展 ごうぎんチャレンジドまつえ、ほか公募作品

同時開催：第14回ゆめのつばさコンサート・コンサートは実際には開催せず。

したがって記念CDも製作しません。

※ 公募展です。公募希望者は無料、障がい者・健常者全て無料 希望者は事務局までご一報くださ
い。個人情報管理承諾書を発送し、事務局が受け取り登録完了者の連絡先をお伝えします。

※ 絵画およびアート作品購入希望者は上記期間中にネットか事務所に直接電話かFAXにて問い合わ
せてください（記念CDは発売しません）。公募による作者の連絡先を教えます。なお、NPO法
人サポートセンターどりーむ作品は事務局で斡旋します。この場合NPOの作品は一律2万円と
し、額装、送料が必要な場合は2万5千円とします。大きさ材料は無関係です。

※ 個人情報の取り扱い注意のために慎重に対応いたします。

メール art-art@amail.plala.or.jp 電話/FAXは 0853-62-4872

※ 特典 売上げの10%をコロナ対策で苦勞されている医療の方々（出雲市立総合医療センター）
へ寄付します。

※ 特別企画 ①中島運輸機工ポスター型カレンダー発売
②年賀状案内

■ 1月&2月の「わんぱく学園」活動予定

新年を迎え、学園もコロナに負けずに活動したいですが、感染の拡大防止のため必ず事前に事務局に
問い合わせてください。事務局は常賀（つねよし） 信寛 080-3056-1175です。

参加は自由ですが、参加費100円が必要です。

月 日	内 容	
1月10日（日）	□初詣 一畑薬師 集合場所：アトリエ「おちらと」	会費100円 担当：常賀信寛
1月17日（日）	□初詣 宇美神社（平田） 集合場所：アトリエ「おちらと」	会費100円 担当：常賀信寛
1月24日（日）	□雑煮カフェ ～新年を祝してお雑煮大会～ ※ 関東風雑煮で乾杯！ 集合場所：アトリエ「おちらと」	会費100円 担当：常賀信寛
1月31日（日）	□ちゃんこ鍋大会 ゲスト：前の勝（元高田川部屋力士 今岡凜太郎） 集合場所：アトリエ「おちらと」	会費100円 担当：金沢英智
2月7日（日）	□正月遊び大会 ※ 開催場所：駐車場 集合場所：アトリエ「おちらと」	会費100円 担当：土江和世
2月14日（日）	□正月遊び 集合場所：アトリエ「おちらと」	会費100円 担当：廣野元志
2月21日（日）	□けんだま大会 集合場所：アトリエ「おちらと」	会費100円 担当：常賀信寛
2月28日（日）	お休み	

*集合時間：9時50分 集合場所：指定の場所へ来てくださいね。

問い合わせ&発行元

〒691-0031 出雲市東福町156-1 NPO法人サポートセンターどりーむ
TEL & FAX：0853-62-4872 メール：art-art@amail.plala.or.jp